



教育センター所報

GALILEI



落葉

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版(カラー)は
「柏崎市教育情報支援システム」
を検索し、トップ画面右上の
「GALILEI」をクリックすると閲覧で
きます。

平成 22 年 11 月号

柏崎市立教育センター

11月号 CONTENTS



○ 今月の巻頭言	地球温暖化は本当か？ 教育センター運営委員 新潟工科大学准教授 小野寺 正幸	1
○ 教育センターたより		
● アクセス（教育研究班）	実践に結びつく教職員専門研修に、スクールオフィス情報	2
● プロジェクト K（教育研究班・科学技術教育）	青少年のための科学の祭典、紹介します！おススメ教材！	7
● 心の窓（教育相談班）	ふれあいルームから、カウンセリングルームから	9
○ 所員随想「つれづれ」	笠木 典子 小林 淑子	11
○ 10月の教育センター参加・利用状況		12
○ 12月の行事予定表		13



◆ICT（情報通信技術）は、「校務の情報化」や「わかる授業づくり」などで効果を発揮するということで、多くの学校で利用されるようになりました。しかし、ICTの操作に自信がなかったり、授業での活用イメージが思い浮かばなかったりした場合は、必ずしも期待するほどの効果をあげることができないと言われています。

少し古いデータですが、文部科学省が平成18年に実施した「教員勤務実態調査」によると、1ヶ月あたりの残業時間は、44年前の昭和41年では約8時間だったのに対し、平成18年では約34時間と大幅に増えてきています。

そもそも「校務の情報化」は、先生方の事務処理にかかる時間を軽減し、できるだけ多くの時間を子どもたちと直接関わってもらいたいという主旨で始まりました。別の言い方をすれば、先生同士が様々な情報を共有し合うことで、事務処理や職員会議にあてる時

間を減らし、空いた時間を子どもたちのために使うということになります。

また「わかる授業」を進めるには、教材を分析し、どのような教え方をするとわかってもらえるか考え、以前なら巧みな話術や板書等で授業をしてきました。しかし、今はICTを活用することで、視覚にうったえたり、豊かなイメージをふくらませたりしながら授業を進めることができます。

柏崎市も、昨年度「教育の情報化」や「校務の情報化」を進めるためのハード面の整備が行われました。これからはそれらを、いかに有効活用するかにかかっています。そのためには、学校全体でICT活用に取り組む、つまり先生方のベクトルを揃え、一人一人が限りない自己変革の意識を持ちながら推進していくことが大切です。

そのためのハードルもありますが、本気でICTを授業や校務の改善に位置づけ、効果を実感することでクリアできると思っています。(nh)



地球温暖化は本当か？

教育センター運営委員
新潟工科大学・工学部・環境科学科
准教授 小野寺 正幸



昨今のエコブームの中、「このままでは地球は温暖化して大変なことになる」と新聞・テレビ・ラジオ等のマスコミによる大合唱がなされている。しかも、その元凶は、CO₂（シーオーツー、二酸化炭素）であるとのこと。確かに、CO₂は赤外線を吸収する性質があり、地下資源である石油・石炭・天然ガス等を燃焼させれば最終的にCO₂とH₂Oになり、それらが大気中に拡散し、大気中のCO₂濃度が増加し、その結果として地球は温暖化しているとの説明は、何となく正しいように聞こえる。しかしながら一方では、「地球はこれから寒冷化していく」、「地球が温暖化して海洋の温度が上昇し、その結果として海洋に溶けていることが出来なくなったCO₂が大気中に放散し、大気中のCO₂濃度は増加している」等、地球温暖化そのものや地球温暖化CO₂元凶説に異議を唱えている科学者も多くいるのも事実である。

そもそも地球温暖化というのは、地球のいつの時代を基準にしているのでしょうか？古気象学という学問分野の研究によると地球の温度は一定ではなく、変動しているとのことである。原因はいくつかあるみたいだが、太陽活動の変動や地球の公転・自転の変動等人類の人為的な活動以外の要因によるものとのことである。縄文時代の日本は、今より温暖な気候であったみたいで、青森県の三内丸山遺跡の発掘研究からもそれを支持している。海外に目を向ければ、氷河で覆われているグリーンランドも発見当初は、海岸沿岸部は草原に覆われていたとの説もある。

地球温暖化は、人類や環境に悪影響を与えていると言われていたがこれも本当なのか？洪水や旱魃、巨大ハリケーンなどの異常気象もすべて地球温暖化が原因みたいな報道が毎日のようにされている。筆者には行き過ぎのように思えて仕方がない。

別に筆者は、地球温暖化は嘘だとか、地球温暖化にCO₂は関係ないとか言うつもりはない。それぞれの専門家がそれぞれの観測データや過去の知見をもとに提唱しているのであるから、最終的には、個人個人が判断を下すしかないであろう。そうすると、個人個人がそれなりの最低限の自然科学に関する知識なり、感性を持っていることが必要になるのではないだろうか？昨今の子供たちの理科離れに危機感をもつのは杞憂であってくれればと祈るしかないのであろうか？

実践に結びつく教職員専門研修に



10月中旬から11月上旬にかけて実施した講座の様子について紹介します。講師先生をはじめ、受講された皆さんのお陰で充実した研修を行うことができましたこと感謝申し上げます。今後も各校の教育実践に役立つ研修となるように努めてまいります。

10月19日(火) 公文書の書き方

学校教育課管理主事 近藤 喜祐

学校から教育委員会等へ提出する公文書には、様々なものがある。文書処理の電子化による利便性の反面、処理量の肥大化といった実態がある中、迅速かつ正確な文書処理が求められる。今回、学校教育課指導兼管理主事の近藤喜祐主幹からは、各種文書における作成上の留意点など、詳しく説明を受けることができた。特に、事故報告書については、具体的なよい例と悪い例を比較しながら、受講者にとってとても参考になる研修であったと考える。

■運良く事故報告書を提出しなければならない事案が当校では発生していません。しかし危機管理から事故が起きてしまった後の対応を知ることは大変有意義でした。報告書にはパターンがあること、記入上の留意点など知っていれば効果的に記入ができます。その分、教職員、生徒、地域、保護者への対応に時間がかけられます。次年度もぜひ実施していただきたいと思います。



10月20日(金) 数学科教材研究講座(中学校図形)

柏崎市立教育センター 矢沢 欣也

3学年「相似な図形」における教材研究の講座であった。相似な図形について、「意味」の実感とその「活用」を通してながら習得を図っていくことの具体について研修を深めた。〇〇であることの根拠だけでなく、〇〇でないことの根拠も大切にしなければならないことや理解が表面的・断片的にならぬよう、問題設定を工夫することが大切である。など、意味の理解を深めたり広げたりするための単元構成、授業構成のあり方について、具体的な問題例を参考にしながら研修を深めた。

■ありがとうございました。特に、活用力を育てるにあたり、計算の技能だけでなく、意味の深まりを狙うことは大切であることを実感しました。自分の実践を振り返ると、答えを導いたり教科の解説にとどまっていることを反省します。私自身も見方、考え方の幅が狭いのにも気付かされます。今日は様々な具体例、考え方を紹介いただき参考になりました。



10月29日(金) 思春期における精神障害の理解と対応

柏崎市立教育センター 小林 東

柏崎市立教育センター小林東カウンセラーを講師に迎え、思春期における精神障害を起こす子への対応について、研修を深めた。精神障害の種類と原因、各種の症状、診断、対応のあり方について具体的に提示していただき、受講者にとって今後の実践に生きる意義ある研修になったと考える。

■近年、精神障害が疑われる子が増えてきているが、なかなかその研修は無かったので勉強になりました。養護教諭として、来室者(保護者相談を含め)の見立てに役立てていきたいと思います。東先生、お忙しい中、ありがとうございました。

■具体的な事例を挙げていただき、思春期の心と体が大切な時期の子どもへの対応が分かりました。毎日子どもと接する環境に居る自分がしっかりこのような研修を受け、正しい知識を得ることで、子どもや保護者、また関わっている担任などに適切に対応できるよう努めていきたいと思いました。また自分の子どもに対する態度を考えました。反省ばかりです。「否定的」なことばかり言うので…。今日から「肯定的」にします。ありがとうございました。



11月2日(火) 算数・数学授業改善(ノートづくり)

上越教育大学特任准教授 中野 博幸 様

上越教育大学特任准教授の中野博幸先生を講師に迎え、算数・数学科における授業改善のあり方について、ノート指導の視点から研修を行った。ノートを工夫することで、思考力・表現力を養い理解を深めていくことにつながる。また教師の指導観、教材観がノートに表れること。など、ノートづくりが授業改善の一つの指針になることについて、ワークショップ形式で研修を深めた。受講者にとって新たな指針を得た貴重な時間となったと考える。

■良いノートって何だろうと考えることはありましたが、このようにノートを中心にして算数を考えることは無かったので、とても良い研修になりました。ワークショップ形式だったので、楽しく積極的に研修できました。そして授業を改善していくことが良いノートにつながることも実感しました。あさってから、早速改善していきたいと思います。ありがとうございました。



10月12日(金) 授業におけるしつけと生徒指導の機能

柏崎市立教育センター 矢沢 欣也

学習意欲の向上と授業規律や学習習慣形成は、学力の向上は元より、子どもたちの生きる力に結びつく。今回の講座では、学校での最も大きな柱である授業における授業規律や生徒指導の意味、あり方について、具体例を出しながら受講者と共に研修を深めた。

■優しさと厳しさの言葉の意味を深く丁寧に教えていただきました。普段の自分は、子どもたちに自己存在感を与えているだろうか。共感的人間関係を具体的に形成する手段を講じているだろうか。自己決定の場面やそれを可能にする手立てを準備しているだろうか…。日々を振り返る大切な機会となりました。「本当の優しさ」を子どもに提供できるよう明日から精進していきたいと思いました。ありがとうございました。



■ ■ ■ スクールオフィス情報 ■ ■ ■

■ スクールオフィスの活用を支援します

今年度の4月からスクールオフィスの本格運用が開始されましたが、その活用度合いには学校間で大きな差があるようです。教育センターでは、各校の利用の様子を毎日確認していますが、ほとんど利用されていない学校もみかけられます。今後、H23年度から保健管理サブシステムの本格運用もスタートすることが決定、指導要録の作成についても試験運用を開始する予定となっていますので、「わからないから使っていない」という状態では業務が滞ることになります。

日常的な活用から行事・名簿の管理、学校ホームページにおける「おたより」機能の活用など、教育センターにおける研修講座だけでなく、訪問支援も可能ですので、ぜひ教育センター「教育研究班」までご連絡ください。



■ 学校間共有掲示板を確認する習慣を！！

スクールオフィスのグループウェアの代表的な機能として「掲示板」があります。電子メールや回覧板は相手を選択して送るものですが、掲示板は基本的に「全員」を相手に情報を提供するものです。

スクールオフィスには「校内掲示板」と「学校間共有」掲示板の2種類があり、それぞれ目的に応じた「板」・・・たとえば「1学年部掲示板」を作成することができます。「校内掲示板」は他校の教職員には見えない掲示板であり、「学校間共有」はどの学校の教職員からも見える掲示板です。

「学校間共有」掲示板には、スクールオフィスのサポート情報、セキュリティ情報、他校からのお知らせなどの重要な情報が提供されることがありますので、この掲示板を確認することを習慣としていただく必要があります。注意点として、特定の掲示板に投稿すると、トップページの表示がその掲示板のみの表示に切り替わってしまうことがあります(下図参照)。必ず、トップページの掲示板情報ボックスを、「すべての掲示板」の表示に戻して確認してください。

The screenshot shows the '掲示板' (Bulletin Board) section of the system. The top part shows a calendar view for January 2021. Below it, there are sections for '回覧板' (Circular) and 'ToDo'. The main part is the '掲示板' (Bulletin Board) itself, which currently shows a school-specific board. A red box highlights the '設定' (Settings) button and the dropdown menu, which is currently set to '校内掲示板' (In-school Bulletin Board). A yellow arrow points down to the next screenshot, which shows the same interface but with the dropdown menu set to 'すべての記事' (All articles). A red box highlights this change.

トップページの「掲示板」情報ボックスの表示

掲示板への投稿後はここが投稿した掲示板に変わりますので、「すべての記事」に戻します

■ ■ ■ 教育情報支援システム情報 ■ ■ ■

📁 講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名／資料名
10/20	097_長尺印刷入門 長尺印刷入門.pdf (テキスト第 8 版) 利用手順フローPX7500S.pdf (おおまかな利用手順を流れ図で示したもの)
11/09	107_スクールオフィス行事予定管理講習 NO8_行事管理講習.pdf (テキスト第 2 版) 行事予定の出力サンプル.pdf (登録した行事が区分の違いによりどのように反映されるかを示したサンプル) 年間予定表変換_スクールオフィス対応.xls (昨年まで提供していた予定表シートをスクールオフィス形式に変換するマクロ) 汎用行事予定変換マクロ.xls (学校独自の形式からスクールオフィスの形式に変換するマクロ)
11/18	105_スクールオフィス名簿管理講習 No7_名簿管理講習.pdf (テキスト第 2 版)

■ ■ ■ 情報関連研修講座情報 ■ ■ ■

📁 12 月に実施される情報関連講座のご案内

◆H22.12.09(木) 記録型 CD・DVD の活用

CD や DVD の基礎知識(メディアの種類や書き込み方式など)を学び、データの保存、音楽 CD の作成、写真アルバムの作成など、目的別の活用法と実際の手順を学習します。以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。

CD や DVD のメディアの種類と用途、目的別活用法、
書き込み方式(ディスクアットワンス、トラックアットワンス、パケットライト)、
ライティングソフトによる書き込みの手順

◆H22.12.14(火) スクールオフィス年度更新講習(主に管理権限を有する利用者向け)

スクールオフィスでは、次年度の準備を始めるための「仮年度更新」と、年度末に年度を切り替えるための「年度更新」の処理が必要です。この講座では「仮年度更新」「年度更新」の役割、「年度更新」のために準備しておくべきこと(教職員名簿の管理など)を学習します。H23.2.2(水)に実施予定の同名講座もほぼ同じ内容で行う予定です。

◆H22.12.17(金) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その7

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡頂ければ、内容に応じた準備をさせていただきます。

◆H22.12.21(火) スクールオフィス保健管理講習

H23 年度から本格運用をスタートさせる「保健管理サブシステム」について、事前準備、日常の業務、季節ごとの業務などを基礎から学習します。1 月 18 日にも同様の講座を実施する予定ですが、保健管理サ

ブシステムには非常にたくさんの機能がありますので、今回の講座に参加した後、各自で試験的に利用し、次回の講座で不明点を確認するようにしていただくと効果的です。

◆H22.12.27(月) デジタルビデオ編集入門

WindowsXP 標準のムービーメーカーを使って、miniDV カメラからのビデオ映像の取込・編集と、テープやDVD への出力手順について学習します(ただし、DVD への出力などの一部の作業については、視聴覚ライブラリに用意されている機器やソフトウェアでの作業となります。各自がお持ちの環境で同じことができるとは限りませんので、ご了承ください)。パソコンを使用したビデオの編集や、編集した映像を DVD にする方法などについて興味のある方や、以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。



デジタルビデオ編集の流れ、miniDV、IEEE1394、コンポジット、S-Video、ビデオキャプチャ
デジタル編集、DV-AVI 形式、WMV 形式、クリップの分割、クリップのトリミング、切り替え効果、
特殊効果、静止画の利用、タイトルの挿入、クレジットの挿入、サウンドの追加、ビデオの出力、
DVD の作成

■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

📁 セキュリティホール情報 1

マイクロソフトより、11 月 10 日付で 11 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	深刻度
1	MS10-087 Office の重要な更新	Microsoft Office の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2423930)	Office XP,2003,2007, 2010,2004/2008/2010 for Mac など	緊急
2	MS10-088 Power Point の重要な更新	Microsoft Office PowerPoint の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2293386)	Power Point 2002, 2003,2004 for Mac, Power Point Viewer	重要
3	MS10-089 Forefront Unified Access Gateway の重要な更新	Forefront Unified Access Gateway (UAG) の脆弱性により、特権が昇格される (2316074)	Forefront Unified Access Gateway 2010	重要

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。グレーの項目は企業向け。

📁 セキュリティホール情報 2

- ・一太郎の脆弱性を悪用した不正なプログラムが見つかっており、悪用することを目的に改ざんされた文書ファイルを直接開いたり、悪意のあるサイトへのリンクをクリックしたりして文書ファイルを意図せず開いてしまった場合、悪意のあるプログラムが侵入します。一太郎の利用者は、ジャストシステム社の Web サイトから情報を確認し、アップデートモジュールを速やかに適用してください。

<http://www.justsystems.com/jp/info/js10003.html>

- ・Adobe Reader、Flash Player、Java などの更新プログラムが頻繁に提供されています。これらのアップデートを促す表示を無視せず、速やかに適用してください。これらのプログラムは利用者が多く、脆弱性を放置したままインターネットにアクセスすると、高い確率で悪意のあるプログラムの侵入を許すことになります。

来場ありがとうございました！ 青少年のための科学の祭典2010

○ 青少年のための科学の祭典2010 柏崎刈羽大会（秋）

11月20日（土）に新潟工科大学で「青少年のための科学の祭典」を開催しました。工科大の学祭とタイアップした春の大会とは異なり、単独開催ではありませんでしたが、1,300人ももの来場者を迎えることができました。

今回は、柏崎工業高校や日本機械学会のブースや、新作ブース「プラトンボ」「光のたまご」も登場しました。さらに、実験ショー、スタンプラリー、実験レシピの配布など、新しい試みにもチャレンジしました。今回の祭典では、一人当たりの滞在時間の長さが特徴的でした。じっくり、ゆっくり、科学の不思議に触れることで、子どもたちの心の中に「ふしぎだね」をたくさん蒔くことができたのではないかと思います。「（レシピをみながら）家でも試してみよう」という子どもの顔がとても印象的でした。これからの生活の中でのびのびと育ててほしいと思います。

来年度も科学の祭典を実施する予定です。ぜひ、いろいろな先生方にスタッフとして参加していただきたいと思います。ちょっとした時間にできる科学工作ネタを入手するだけでなく、普段の学校で見せている顔とは一味違う子どもたちの顔を見ることができます。ふるってご参加ください。



おめでとうございます！ いきいきわくわく科学賞2010

○ いきいきわくわく科学賞2010 柏刈地区からも1作品入賞！

11月16日（火）に最終審査が行われ、17日に審査結果が発表されました。柏崎刈羽地区からも11作品の応募があり、そのうち廣川木葉さん（刈羽中）の作品が東京電力賞を受賞しました。

また、いきいきわくわく科学賞2010に出品された作品をまとめた「わたしたちの科学研究」第46集も発行されます。上位入賞者の作品の研究や全応募作品のテーマ・研究者一覧などが掲載されています。来年の科学研究のみならず、科学クラブや選択理科、総合的な学習のヒントになる研究が多数あります。今年も注文をセンターでとりまとめたいと思いますので、多くのご注文をお待ちしております。

研修会・事業の一コマ

・・・ 研修会の様子&参加者の声など ・・・

○ 第49回上越地区教職員理科研究発表会（11月2日開催）

◇会場 妙高市・わくわくランドあらい

◇内容 教職員の実践発表です。当地区からも3人の先生方が発表してくださいました。たくさんの先生方の発表があり、失敗しないヒメダカの飼育法や「教えて考えさせる授業」の実践など、非常に興味深い内容ばかりでした。授業の進め方に困ったら、いろいろな先生方の実践を参考にするのもよいと思います。センターでも過去の発表要項を保管しておりますので、どうぞご利用ください。なお、柏崎刈羽地区でも1月14日に研究発表会を行います。たくさんのご参加をお待ちしております。

○ 要請研修「初任者研修」(10月25日実施)

◇内 容 薬品の取り扱いや器具の使い方に関する話と、ものづくりを行いました。科学の祭典でも紹介したキラキラ万華鏡や光のたまご、さらに画用紙1枚で伸長1m以上のガイコツペーパークラフト(ガイコツ君)やレントゲンカードなどを作りました。最後はキラキラ花火を打ち上げて閉会しました。



★紹介します！おススメ教材！・・・ものづくりセット・・・

(センターの教材は貸し出し可能です。どうぞご利用ください。)

寒い季節に入り、室内での活動が多くなってきます。こんな時こそ、ものづくりはいかがですか？センターでは、科学の祭典で使用した道具をセットでお貸しすることができます。(消耗品等は、各学校でご準備ください。)また、材料や作り方など、不明な点はお気軽にお問い合わせください。貸し出しを希望される方は、科学技術教育センター(20-0212)にご連絡ください。

※センターの教材については、貸し出し期間は原則1週間です。ほかに予約が入っていないければ延長することも可能です(要電話連絡)。

○ プラバンセット (オーブントースター)

プラスチックに熱を加えると縮む性質を利用して、プラスチックアクセサリーを作りませんか。プラコップにマジックで模様を描いて、オーブントースターで加熱するだけのお手軽工作です。クラス単位で実施するには、オーブントースターの数が必要になってきます。こんなときこそ、センターのオーブントースターをご利用ください。※やけどには、ご注意ください。

○ ブーメランセット・プラトンボセット

飛ばして遊べるブーメランやプラトンボは、子どもたちに人気です。ブーメランは厚紙を、プラトンボではPPシートを羽にして作ることができます。羽の型紙が準備してありますので、材料さえあれば型紙に合わせて切ったりとめたりするだけで作業完了です。材料の準備は各学校でお願いします。

○ 折染めセット

同じ折り方で、同じ色の組み合わせで染めても、二つと同じ作品はできません。短時間で作品は出来上がるのですが、準備がちょっと大変なのが珠にキズ。セットの中には色水とシャーレ、机の上に敷くシートがセットになっていますので、障子紙の準備だけですぐに始めることができます。

12月の行事予定(研修会など)

○ 中学校1分野「身のまわりの物質」

◇日 時 12月2日(木) 15:00~16:45

◇内 容 身の回りにあるプラスチック素材を使いながら、その性質について調べます。同じ表示のプラスチックでも、加工方法によって実験の結果が異なることがあります。素材選びのポイントを紹介します。また、身の回りで使われているプラスチックの種類や量の多さから、日常生活との関連についても考えてみましょう。

○ 理科を語る会

◇日 時 12月5日(土) 14:00~16:10

◇会 場 高陽荘

◇内 容 上越教育大学准教授の濤崎智佳先生からご講演いただきます。

◇演 題 「現代天文学が解き明かす宇宙のすがた

～生まれてくる星々のゆりかご～

心の窓

No.135

平成22年11月25日(木)

〒945-0833 柏崎市若葉町2-31

TEL 0257(23)4591(代表)

FAX 0257(23)4610



ふれあいルームから

◇◆◇ 頑張っています！ 楽しい陶芸体験のために…。 ◇◆◇

ふれあいルームは、毎年10月～11月にかけて、3回シリーズで上下浜にある石井工房さんで陶芸の体験をしています。

行き帰りは、電車を使用しています。車で移動することが多い通級生にとって、電車で知らないところへ行き、経験のないことを体験することは、一見楽しみなようですが、実は、不安を感じる通級生も多いのです。



この通級生の不安を和らげ、安心して参加できるようにふれあいルームでは次のようなことに気を付けています。

- 事前の説明(場所・交通手段・講師先生紹介・作り方など)をできるだけ早めに(10日前くらい)おこなっています。
- 作り方の説明は、作業手順がわかるようにホワイトボードに書いておこなっています。その際、絵や写真を入れ、実際の様子がイメージしやすいように気を付けています。
- 説明後のホワイトボードは、通級生の目につくところに置き、いつでも作業手順などを確認できるようにしておきます。

このように、早めに説明しておくことで、思い込みから生じる不安を解決することができ、安心して参加できるようです。

こうして、1回目の陶芸教室(型づくり)を終え、通級生は、自分なりに満足した作品を作ることができました。2回目の絵付け作業も楽しんでやれることでしょう。「うまく作ろうとせず、楽しんで作ろう!!」をモットーに小さな芸術家たちは今年も頑張っています。11月末に、陶芸教室の作品をセンター1階に展示する予定です。センターへお越しの際は、ぜひご覧ください。

(文責 ふれあいルーム指導員 池田 恵里子)

カウンセリングルームから

◇◆◇ 昔の言葉 ◇◆◇

〈やってみせ、説いて聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かぬ〉

という昔の言葉があります。ここには見事に子どもたちへの社会性指導のエッセンスが盛り込まれていると思います。まず、〈やってみせ〉とはモデリングと言われる要素で、具体的なやり方の「お手本の

提示」を行うことです。その次の〈説いて聞かせて〉は「対処方法」や「やり方」を言葉で説明することです。〈させてみて〉は、つまり「体験」です。体験を通してしか身につけられないのが社会性なのです。そして最後に〈ほめてやらねば〉です。これはもっとも重要な「成功」の部分です。これがあって、すべてがつながり、そして身につくのです。〈モデル・スキルの提示→体験→成功〉という一連のプロセスを社会性指導の場でも、家庭でも、学校でも繰り返し行うことが社会性につまずきのある子どもたちの教育の原理であろうと思っています。



〈やってみせ、説いて聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、スキルは育たぬ〉

(参考：小貫悟・名越斉子・三和彩「LD・ADHD へのソーシャルスキルトレーニング」日本文化科学社)

(文責 カウンセリングルーム相談員 長谷川 大)

〈個別指導の必要性〉

通常学級において、個別に指導することが必要な子どもとは、

- ① 極度の感覚過敏や精神的不安から教室にいることができない子
- ② 衝動的な行動があり、学級集団の中で常にトラブルを起こしてしまう子
- ③ 学習の遅れが顕著で、授業に全くついていけない子

等が考えられます。しかし、本人の障害や不適応の程度、環境、学校体制等様々な要因があり、すぐに個別指導が必要か、あるいは可能かについては個々のケースによって異なります。すぐに個別指導をするのではなく、落ち着いた学級作りや環境調整、集団内でのルールの明示とスモールステップでの評価、保護者の受容を促し適正就学を図ること等で改善されていくことも考えられます。

このような子どもたちに共通するのは、失敗経験の蓄積で、自尊感情が極端に低下している点です。どのような指導形態であれ、それ以上子どもたちに失敗させないこと、意図的に成功経験に導いて、自尊感情を高めることが大切です。具体的には、例えば、失敗する前に分かりやすい手がかりを与えたり、課題の難易度や分量を調整したりすることです。そのようにして成功体験を積むことで、自信を回復し、少しずつ学級集団に適應できるようになるかもしれません。個別指導とは、学級集団というステージに自信をもって立てるようにするためのものなのです。(参考：「特別支援教育 Q&A」ジアース教育新社)

(文責 長谷川 裕美)

12月



〈ふれあいルーム〉

10日(金) スケート教室①
22日(水) 冬休み前通級終了日

〈カウンセリングルーム〉

いろいろ体験グループ 〈SST〉

3日(金) 18:30~20:00 中学生第2グループ
10日(金) 16:30~17:30 小学生A・Cグループ
17日(金) 16:30~17:30 小学生Bグループ
20日(金) 18:30~20:00 中学生第1グループ
22日(水) 18:30~20:00 中学生第2グループ

〈その他の予定〉

3日(金) 子ども虐待防止研修会(柏崎エネルギーホール)
8日(水) 就学相談(教育センター)
17日(金) 第3回発達障害にかかる校内事例検討会(比角小)



手間隙かけて

教育相談班

相談員

笠木典子

今夏、友人やご近所さんからたくさん夕顔をいただいた。さて、どうしようと思案し、今年の「GALILEI 7月号 つれづれ」を思い出し、初めて、干瓢を作ることにした。

夕顔を細長く切って一本一本洗濯ハンガーに吊るした。まっすぐに切れなくて大笑いしたり、上手に切れて拍手したりしながら、3つの洗濯ハンガーに干した。

猛暑の青空の下、白い細長い夕顔たちが風に揺られ、同じ方向に気持ちよさそうにゆらゆら揺れる姿はなんとも穏やかな心地よい光景であった。孫たちが珍しそうに眺めたり、触ったりして干瓢の感触を楽しみ、その使い道に妙に納得していた。

夕顔を干すまではスムーズにいったものの、次に、どうやって保存するのも分からず何日も何日も干し続けていた。それを見かねたご近所のおばあさんが声をかけてくださり、2通りの保存方法と数種類のレシピを教えてください、人生のよもやま話に花が咲いた。

手間隙かけて初めて作った干瓢で手作りの楽しさを味わうことができた。そして、それ以上に、温かい穏やかな気持ちにさせられた。今の世の中、便利で何でもお金を出せば買える時代に、忘れかけていた豊かさをしみじみ味わったような気がする。

恥じらい

教育研究班

指導員

小林淑子

先日テレビで樹木希林さんが「この人たちは、恥じらいを知ってるのよ。そこが素晴らしいのよ。」とご自分の友人をご紹介されていた。

恥ずかしい：自分の欠点・過失などを自覚して体裁悪く感じるさま
この意味をそのまま当てはめると「恥じらいを知る人」とは、自分なんて誇れる人間じゃないと卑下し消極的な人となりそう。決してポジティブでない。しかし、希林さんが言われるのは、どうもそうではないようだ。周囲から指摘されることなく素直に自身の失敗や欠点を認めることができ、それを謙虚に美しく表現することができる人と言うのではない。「ごめんなさい、できません」とひと言で済ますことは容易ではあるが、自身のマイナス部分をしっかりと受け止め、奥ゆかしく表現することは、心に余裕が無ければできないことであろう。

日本人が従来恥らう姿を「美」としてきたのも、希林さんが「素晴らしい」と絶賛するのも、謙虚に美しく表現することがいかに難解であるかを現している。残念ながら、今年の日本では、自分の成功や得意とすることを表現し自己の存在感を認めさせようとする風潮が高まっているが、ともすればそれは悪臭を漂わせてしまうことになりかねない。

「恥じらいを知る人」こそが、真に日本人らしい「魅力的な人」と言えるのであろう。

H22年度の教育センター参加・利用状況

	研 修 講 座 ・ 事 業 名		5月の 利用数	6月の 利用数	7月の 利用数	8月の 利用数	9月の 利用数	10月の 利用数	H22年度 利用合計数
教育 研究 班	専門研修講座(情報・科学を除く)　*		3回	5回	5回	16回	4回	5回	40回
			117人	114人	186人	504人	135人	289人	1365人
	共催研修、研修講座		1回	1回	0回	2回	1回	1回	7回
			47人	45人	0人	51人	34人	197人	397人
	調査研究員会,教科研修員会		1回	3回	3回	1回	3回	7回	18回
			14人	3人	3人	1人	3人	7人	31人
	教育情報化研修講座　*		6回	7回	8回	12回	2回	2回	38回
			30人	68人	90人	124人	2人	2人	332人
	情報教育主事の要請支援等		4回	9回	10回	5回	13回	25回	83回
			15人	26人	105人	24人	30人	73人	377人
その他の相談・利用・参加数		0回	19回	0回	0回	0回	2回	21回	
		0人	132人	0人	0人	0人	3人	135人	
教科書センター利用閲覧数		1人	312人	85人	12人	9人	4人	427人	
教育 研究 班・ 科学 技術 教育	理科研修講座　*		2回	2回	1回	3回	2回	2回	14回
			10人	20人	17人	51人	50人	12人	203人
	学校等の要請研修		1回	2回	2回	1回	3回	1回	10回
			20人	166人	144人	4人	66人	10人	410人
	地域の自然研修・観察会		1回	1回	1回	0回	0回	0回	3回
			44人	9人	32人	0人	0人	0人	85人
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		0人	4,578人	0人	804人	2,208人	0人	7590人
	理科教育の相談・支援		3件	9件	14件	16件	3件	17件	64件
	理科教材・物品の貸出		3件	14件	7件	3件	31件	26件	87件
(教職員研修の合計)		30人	20人	17人	55人	85人	22人	272人	
教育 相 談 班	カウンセリングルーム来室相談	新規相談件数	20件	17件	28件	21件	20件	26件	179件
		のべ相談件数	50件	48件	55件	52件	66件	68件	398件
	学校訪問相談		16回	17回	12回	7回	7回	8回	69回
	電話相談		3件	2件	0件	3件	3件	2件	17件
	ソーシャルスキルトレーニング		4回	5回	6回	4回	1回	5回	25回
			20人	28人	31人	22人	5人	26人	132人
	ふれあいルーム在籍人数	小学生	3人	3人	3人	3人	3人	3人	21人
		中学生	7人	8人	8人	8人	9人	9人	55人
	ふれあいルーム通級日数		18日	22日	15日	3日	20日	16日	111日
	ふれあいルーム通級のべ人数	小学生	42人	46人	35人	6人	43人	27人	235人
		中学生	58人	107人	62人	8人	70人	75人	427人
	ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)		6人	7人	7人	8人	6人	7人	47人
教育団体， P T A， 市民等の利用			226人	456人	422人	358人	270人	263人	2167人
教育センター事業の参加・利用総数			739	6,217	1,328	2,071	3,055	1,135	15,127

####

平成22年度 月間予定表

12月

柏崎市立教育センター

日	曜	研修・行事・会議	内部事務▼・出張等	関係事業・施設貸出等
1	水		▼所内会議 13:00	
2	木	科・第一分野「身の回りの物質」15:00		社会性育成教員リーダー研修会(多目)13:00
3	金	研・学校保健・保体「性教育」(鏡中)14:00 研・学校園連携「子どもの虐待防止について」(エネホ)13:30 相・いろいろ体験グループ(中②)18:30		子ども虐待防止研修会(エネルギーホール)13:30
4	土			
5	日		理科を語る会(上越:酒井)	
6	月		メンタルヘルスセミナー(第二分館:長谷川裕)13:30	第3回特別支援教育コーディネーター研修会(学教:多目他)13:00
7	火	研・同和教育「県内における部落史」(多目)15:00		
8	水	保健管理システム検討委員会(情報研修室)14:00	心のケアセンター事業報告会(心のケアセンター:小林東)13:30	
9	木	情・校務の情報化「記録型CD/DVDの活用」15:00	県地区セン所員研修会(県セン:酒井)	
10	金	ふ・スケート教室①(柏崎アクアパーク) 相・いろいろ体験グループ(小A・C)16:30	県地区セン所員研修会(県セン:酒井)	
11	土		いきいきわくわく科学賞表彰式(新潟:酒井)	
12	日			
13	月	相・拡大相談班会議 13:00	▼広報1/20号〆切 算数数学授業研究会(高柳中:矢沢)PM	
14	火	情・校務の情報化「スクールオフィス年度更新講習」15:00		事務研(多目)15:00、事務研第3グループ(ミーティング)14:00 養護教員会グループ研修(相談室)15:00
15	水	研・「社会科教材研究」(多目)15:00		
16	木	研・「学校事務研修2」(多目)15:00		中越臨床心理士会(小林東)13:00
17	金	情・「疑問やトラブルに答えるフリ-Q&A⑦」15:00 ふ・そば打ち体験 相・いろいろ体験グループ(小B)16:30	校内事例検討会(比角小:小林東)終日 ▼職員親睦会	
18	土			
19	日			
20	月	相・いろいろ体験グループ(中①)18:30		
21	火	保健管理システム講習会(情報研修室)		
22	水	ふ・通級終了日 相・いろいろ体験グループ(中②)18:30		
23	木	天皇誕生日		
24	金		▼紙資源物回収	
25	土			
26	日			
27	月	情・校務の情報化「デジタルビデオ編集入門」13:00 相・相談班会議 13:00		
28	火			
29	水			
30	木			
31	金			
研・教育研究班 科・科学技術教育 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修 育・育成センター 【 】は未確定の行事・時間				

青少年のための科学の祭典

2010年11月20日（土）新潟工科大学と共催で行いました。1300人が訪れ、大変盛況でした。



ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者
で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方
法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも
ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造
と検証の精神が必要であるという趣旨から
情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターの情報とともに、柏崎の教育
を広く発信していきます。

所報「GALILEI」 平成22年11月末日発行

編集・表紙写真撮影 中山 博迪

「ガリレイ」に関する意見・感想は、下記へ

E-mail nakayama@kenet.ed.jp



柏崎市立教育センター

TEL(代表) 0257-23-4591
FAX(代表) 0257-23-4610

〒945-0833

新潟県柏崎市若葉町 2-31

教育研究班・情報教育

TEL・FAX 23-1168

教育研究班(科学技術教育)

TEL 20-0212

FAX 20-0205

教育相談班(カウンセリングルーム)

TEL 32-3397

//

(電話相談)

TEL 32-4115

E-mail k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp